

本日ここに、平成29年9月横芝光町議会定例会をお願い申し上げましたところ、議員各位には時節柄ご多忙の折にもかかわらず、ご参集いただき誠にありがとうございます。

また、平素より、町の各種事業の推進にあたり、格別なるご高配とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

7月上旬に福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨は、記録的な大雨となり、土砂崩れや河川の氾濫により多くの被害が発生し、30名以上の尊い命と住宅や文化財など貴重な財産が失われてしまいました。

一日も早い復旧、復興を願うとともに、被害に遭われた皆様には、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

また、7月下旬に発生した台風5号は、発生から消滅までの期間が、統計を取り始めた1951年以降、観測史上3位の「長寿台風」となり、8月上旬には、本州を横断し、日本各地に非常に大きな被害をもたらしました。

幸いにも、当町においては、このような被害はありませんでしたが、改めて防災対策の重要性を認識しているところであります。

9月に入りまして、過ごしやすくなったものの、暑かった夏の疲れや昼夜の温度差から、体調を崩しやすい時期でもありますので、議員各位には、体調管理に十分ご留意くださるようお願い申し上げます。

それでは、9月議会定例会に当たり、町政の状況等諸般の報告を申し上げます。

【企画財政課】

はじめに、企画財政課関係事業についてであります。国は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等へつなげる観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げることとしています。

全国の自治体では、参加国・地域の事前キャンプなど、誘致合戦が繰り広げられておりますが、このような中、中央アメリカのユカタン半島南部、カリブ海に面する「ベリーズ」という国から当町に、ホストタウンの引き

受け要請がございました。

ベリーズは、人口36万弱、面積は四国よりやや大きい2万3千平方キロ、砂糖、オレンジ、グレープフルーツ、ロブスターなどの農林水産業を主要産業とし、古代マヤ文明を歴史に持つ国です。昨年6月15日、ベリーズ大使館の名誉総領事と町内在住の方が知り合いとの縁で、当町に来られ、その際にホストタウンの打診がありました。その後、関係課を交え協議を行い、受け入れの方向で回答を差し上げたところ、先月8月2日にベリーズ国の手紙を得て、正式に要請をいただきました。

小さな国で、オリンピック・パラリンピックに出場する選手は数名のことですが、当町として出来る限りの応援、おもてなしをさせていただきたいと考えており、今後ホストタウンの登録に向け準備を進めて参りますので、ご協力をお願い申し上げます。

公共交通に関しましては、カスミ横芝光店の開店に合わせ、7月21日から町内循環バス南側ルートの乗り入れを開始いたしました。現在乗り入れをしていない大総・栗山循環、日吉・南条循環につきましては、時刻表改訂に合わせ、10月1日から、運行ルートの一部変更し、乗り入れを開始する予定です。

ショッピングモールサビアの閉店後、買い物に不便を来しているとの声が聞かれていましたので、全路線で乗り入れすることで、多くの方から喜ばれ、ご利用いただけるものと期待しております。

続いて、成田空港の更なる機能強化についてであります。6月12日に開催された「成田空港に関する四者協議会」において、空港圏地域から提出されていた「夜間飛行制限緩和の一部見直し」「騒音区域設定における集落分断の回避」「航空機落下物対策」「空港周辺の地域づくり」を内容とする要望書への対応案が示されました。町としては、町民の皆様に対応案の内容を知っていただくために、この対応案がある程度具体化された段階で住民説明会を開催する予定です。

6月26日には議会と町の連名で、国土交通大臣・千葉県知事・成田国際空港株式会社社長に対して、「双方向での対話の継続」「住民目線に立った抜本的な環境対策」「地域振興策の早期提示」「周辺対策交付金の充実・早期提示」の4点を要望することができました。成田空港の更なる機能強化という重要問題について、今後も議会と執行部が一体となって対応していきたいと考えますので、議員の皆様には引き続きご理解・ご協力をお願い申し上げます。

次に、成田ナンバー図柄入りナンバープレートについてであります。地域版図柄入りナンバープレートを交付できる制度が創設されたことから、当町も構成メンバーとなっている成田空港圏自治体連絡協議会では、空港周辺7市町の住民を対象としたアンケートを実施した結果、成田ナンバーについて、平成30年10月から希望者に図柄入りナンバープレートの交付が開始できるよう、所要の手続を進めていくこととなりました。

【産業振興課】

続いて、産業振興課関係事業についてであります。7月15日（土）から8月20日（日）までの37日間、屋形海水浴場を開設いたしました。町観光まちづくり協会が中心となり実施した売店の開設や、バーベキューエリアの設営は、昨年同様お客様からご好評をいただきました。また、来客数の更なる増加を目標に、新規のイベントも多数企画し行いましたが、天候の悪い日が大変多く、来客数は8,675人と昨年より540人減となってしまいました。

しかしながら、開設期間中は、交通安全協会や防犯協会の皆様のご協力とライフセーバーによる適切な監視業務により事故もなく、無事終了することができました。ご尽力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

【教育課】

次に、教育課関係事業についてであります。中学校の部活動におきましては、今年も横芝中学校・光中学校共に素晴らしい成績を収めました。

関東大会へは、横芝中学校からソフトテニス男子個人、陸上男子1500m、光中学校から陸上2年女子1000mに出場しました。特に、陸上2年女子1000mでは、決勝は4位でしたが、予選で好タイムを記録し、来月開催されるジュニアオリンピック陸上大会に出場することとなりました。

また、全国大会へは、横芝中学校から水泳男子50m及び100m自由形、光中学校から陸上2年女子1000mに出場し、残念ながら予選敗退となってしまいました。選手達は精一杯競技したことと思います。

大会に出場した生徒達はもちろんのこと、熱心に指導に当たっていただいた先生方、そして日々生徒を支えた保護者の皆様のご苦勞に対しまして、改めて敬意を表します。

続いて、学校適正配置等検討委員会についてであります。今月、第8回目の会議が予定されており、前回の会議では統合すべき学校や統合の時

期等について協議がされたと伺っております。検討委員会の協議も終盤に入りましたが、委員の皆様には引き続き「子どもたちのため」を最優先に考えた協議をお願いしたいと思っております。

次に、上堺小学校のトイレ改修工事についてであります。工程案どおり工事は順調に進捗しております。夏休み期間中は、解体工事による騒音などで小学校周辺にお住まいの皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

【社会文化課】

続いて、社会文化課関係事業についてであります。「第68回山武郡市民体育大会」が6月25日から8月20日にわたり開催されました。当町も17種目に参加し、393名の選手・関係者が参加されました。

「陸上競技（男子）」・「ソフトテニス（男子）」・「卓球（女子）」・「グラウンド・ゴルフ」の優勝をはじめ、各種目で優秀な成績を収められ、総合成績では横芝光史上最高の準優勝という成績でありました。

暑い中での大会となりましたが、選手、体育協会の役員をはじめ、大会運営にご尽力いただいた関係各位に深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

【食肉センター】

次に、東陽食肉センター関係事業についてであります。本年7月末現在のと畜頭数は、豚で42,266頭、牛は1,048頭で、昨年同時期と比較し、豚は448頭、牛は57頭それぞれ減となっております。

豚のと畜頭数減少の要因としては、徐々に沈静化に向かっていると言われる豚流行性下痢（PED）が、本年5月に香取、東総地域で確認されるなど、いまだに終息には至っていないことが大きな原因と考えられます。

牛のと畜頭数減少については、千葉県全体的に減少している生産農家数の減少が原因と考えています。

今後も関係者と連携を密にし、と畜頭数の確保に努めていきたいと考えています。

【東陽病院】

最後に、東陽病院の運営状況についてであります。入院患者は微増ながらも増加傾向にあります。外来患者におきましては、昨年5月に循環

器内科の非常勤医師が派遣されなくなったこと等により、昨年度は大幅に減少しました。しかしながら、電子カルテシステム導入により外来患者の待ち時間短縮が図られており、今年度は外来患者数も回復傾向にあります。断続的な医師不足により厳しい運営状況ではありますが、この6月から7月にかけて患者満足度調査を実施しましたので、この調査結果を基に、地域住民に信頼されるべく更なる患者サービス向上に取り組んでまいり所存でありますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

以上、現在の各種事業の進捗状況等について、申し述べさせていただきました。

議員各位には、今後とも、更なるご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、諸般の報告といたします。